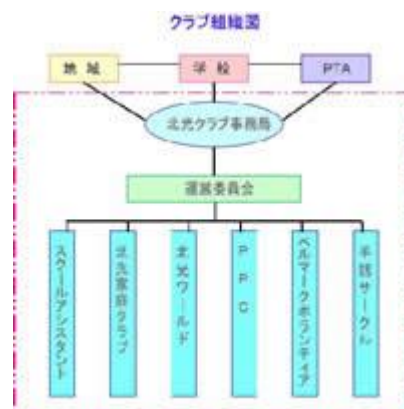


鹿沼市 北光クラブ

【活動の概要】

北光クラブでは、子どもたちが学校で学習している時間帯に、空いている学校施設を有効に活用している。そこでは、地域の人々や保護者がサークル活動（生涯学習）をとおして学んだ成果を子どもたちの授業やクラブ活動に生かしていけるよう、地域に根ざした豊かな学びを創造し、コーディネートをしている。



<クラブ組織図>

【始めるきっかけ】

鹿沼市立北小学校では、早い時期から地域との連携をすすめており、多くの地域住民が授業にかかわりをもってきた。やがて、それらの人々は、当時の校長先生をはじめとした教職員の働きかけに応じて、1977年にはスクールアシスタントを、翌年には家庭クラブを結成した。1999年には、子どもたちの豊かな体験づくりのためのサマースクールを、2000年には、北小学校にかかわる様々なサークル等が発足して活動が活発になってきたためネットワーク化の検討が始まった。そして、同年4月に4つのサークルをネットワーク化した北光クラブが発足した。6月には、P P C（ペアレントパソコンクラブ）が発足し、北光クラブに加入した。

【活動の内容】

北光クラブは北小学校を活動の場とする地域住民のサークルである。各々のクラブは各々学校と連携した活動を独自に展開しているが全体として行う事業もある。

○サマースクール

夏休みに開催する子ども向け講座（一部親子向け）で、1999年から始まる。鹿沼市立北中学校のボランティア委員会の協力を受けたり、作新学院ボランティアセンターの高校生の企画による講座が開設されるなど、当初4講座でスタートしたが、今では25講座に拡大し、子どもたちの豊かで貴重な体験の数々を提供している。



<6年生音楽「琴の鑑賞と体験」>

○チャレンジスクール

学校週5日制の実施に伴い、子どもたちが休日を有効に活用して充実した時間を過ごせるようにと、2002年6月から始まる。子どもたちの興味・関心を把握し、それをもとに地域で何ができるかを話し合い、実施する内容を決める。2003年には、自治公民館を開放し、出前講座を開催したり、2004年には、ボランティアティーチャーに呼びかけ、年間計画を立て実施している。

○地域の教育資源の活用（授業支援）

「子どもたちのための豊かな体験づくりを地域の手で行い、地域の子どもは地域で育

てたい」という思いから、2001年から北光クラブ自らが貴重な体験や専門性のある方々を地域の教育資源として募集し、総合的な学習の時間等のボランティアティーチャーとして活躍してもらっている。また、地域にある様々な施設も有効活用している。

【成果と課題】

「子ども」をキーワードにした地域の教育力のネットワーク化を図ることにより、地域住民の生涯学習としての学びの場を保障し、その学びの成果を子どもたちのための豊かな体験づくりや学校教育の支援などに生かしている。このことは、子どもの教育の充実につながり、自らの学びを充実させている。今後は、地域の教育力をどう高めていくか、住民と学校、また、住民同士の信頼関係をどう築いていくかが課題である。

★ ここが特徴！

- ☆ 「子どもの成長」をキーワードにした地域のネットワークの核となっている。
- ☆ 地域住民の学びの成果を生かす場として、有効に機能している。
- ☆ 教員と一緒に授業づくりが行われている。
- ☆ 地域の教育資源を活用していく上での地域と学校を結ぶコーディネート機能が充実している。
- ☆ 地域が子どもたちのために何ができるかを常に模索し、実践している。